

## 「環境問題に関する世論調査」の概要

平成 17 年 11 月  
内閣府政府広報室

調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人 有効回収数 1,896 人 (回収率 63.2%) 調査期間 平成 17 年 9 月 8 日～ 9 月 18 日
調査目的	環境問題に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 環境問題全般に対する関心・意識について 2 ごみの 3 R の推進に対する意識について 3 自動車環境問題に対する意識について
調査実績	近隣騒音公害・自動車公害に関する世論調査 (昭和 58 年 8 月) 自動車公害に関する世論調査 (昭和 60 年 10 月) 環境保全に関する世論調査 (平成 5 年 2 月) 環境保全と暮らしに関する世論調査 (平成 7 年 1 月) 省エネルギー・新エネルギーに関する世論調査 (平成 8 年 2 月) 循環型社会の形成に関する世論調査 (平成 13 年 7 月)
その他	本調査の概要は、内閣府ホームページに 11 月 21 日 (月) より掲載する予定です。 <a href="http://www8.cao.go.jp/survey/index.html">http://www8.cao.go.jp/survey/index.html</a>

### (本件の連絡先)

内閣府大臣官房政府広報室

連絡担当者：松本

03 - 5253 - 2111 (代表)(内線 82783)

03 - 3581 - 0070 (直通)

環境省大臣官房政策評価広報課広報室

連絡担当者：山田、浜地

03 - 3581 - 3351 (代表)(内線 6140)

03 - 5521 - 8213 (直通)

## 「環境問題に関する世論調査」の要旨

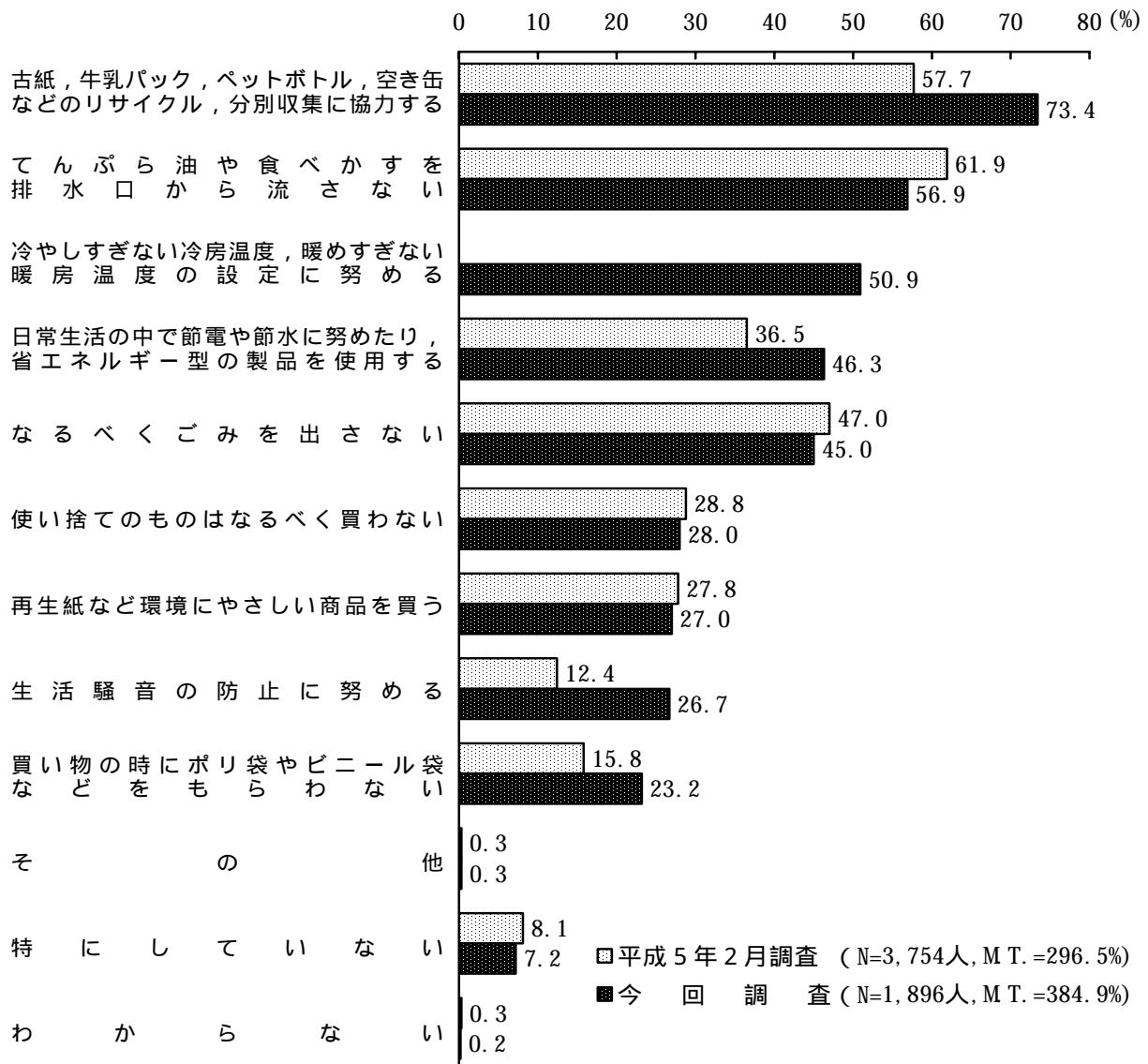
平成 17 年 11 月  
内閣府政府広報室

[平成 17 年 9 月実施, 全国 20 歳以上の者 3,000 人, 有効回収数 1,896 人, 回収率 63.2%]

### 1 環境問題全般に対する関心・意識について

(1) 家庭における環境保全の取組(複数回答, 上位 5 項目)	平成 5 年 2 月	平成 17 年 9 月
・古紙、牛乳パック、ペットボトル、空き缶などのリサイクル、 分別収集に協力する	57.7%	73.4% (増)
・てんぷら油や食べかすを排水口から流さない	61.9%	56.9% (減)
・冷やしすぎない冷房温度、暖めすぎない暖房温度の設定に努める		50.9%
・日常生活の中で節電や節水に努めたり、省エネルギー型の製品を使用する	36.5%	46.3% (増)
・なるべくごみを出さない	47.0%	45.0%

(複数回答)

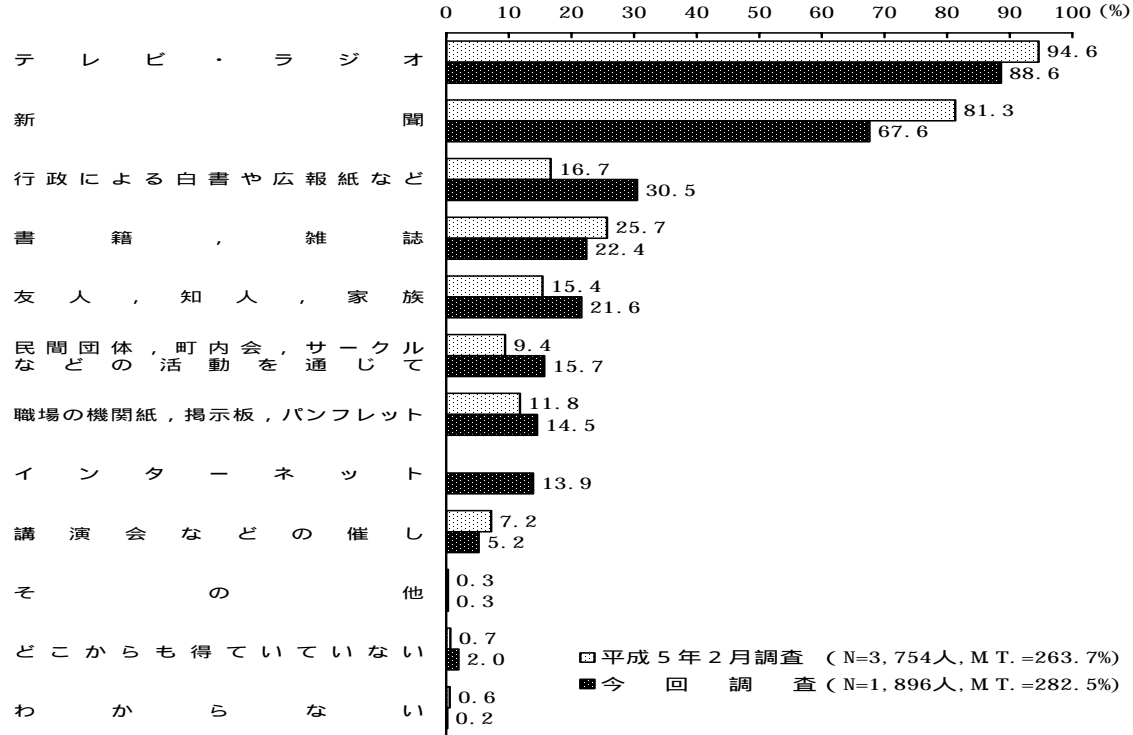


(2) 環境に関する情報の入手方法 (複数回答, 上位5項目)

平成5年2月 平成17年9月

・テレビ・ラジオ	94.6%	88.6% (減)
・新聞	81.3%	67.6% (減)
・行政による白書や広報紙など	16.7%	30.5% (増)
・書籍、雑誌	25.7%	22.4% (減)
・友人、知人、家族	15.4%	21.6% (増)

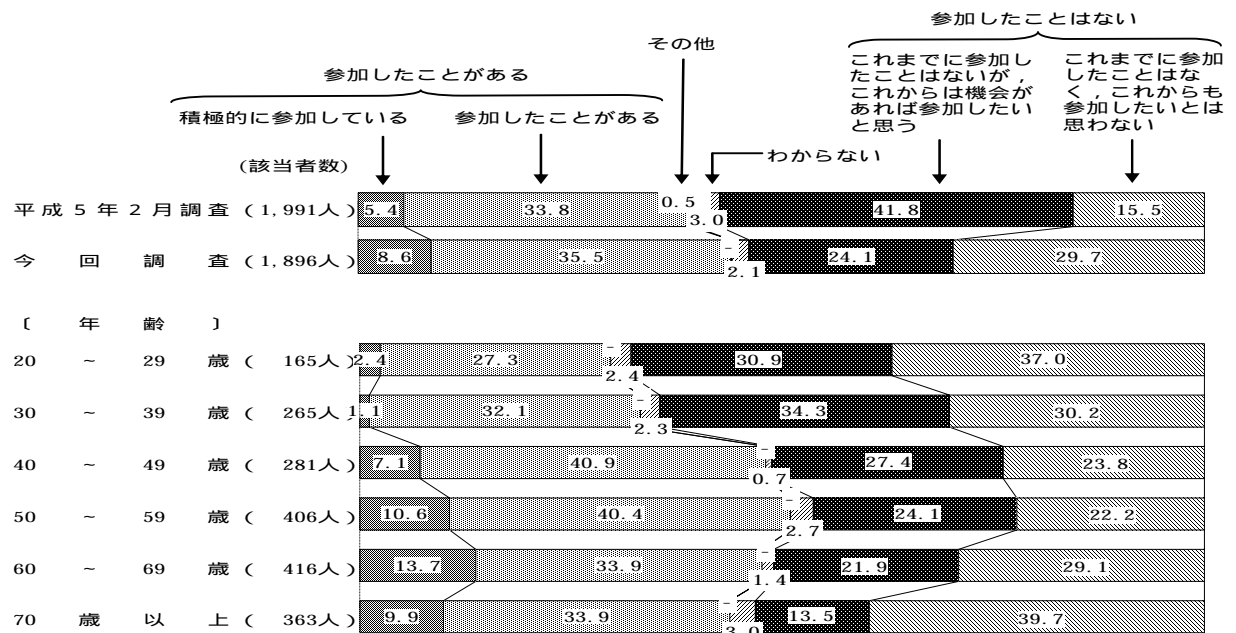
(複数回答)



(3) 環境保全活動への参加状況

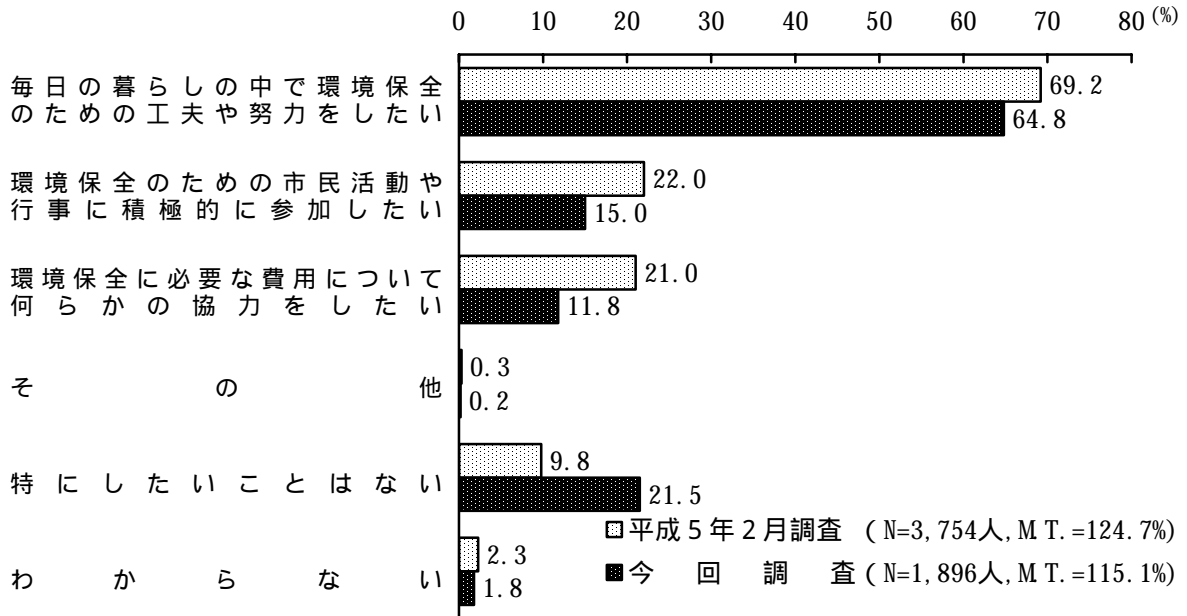
平成5年2月 平成17年9月

・参加したことがある	39.2%	44.1% (増)
積極的に参加している	5.4%	8.6% (増)
参加したことがある	33.8%	35.5%
・参加したことはない	57.3%	53.8% (減)
これまでに参加したことはないが、これからは機会があれば参加したいと思う	41.8%	24.1% (減)
これまでに参加したことはなく、これからも参加したいとは思わない	15.5%	29.7% (増)



(4) 今後の環境保全への取組（複数回答，上位3項目）

	平成5年2月	平成17年9月
・毎日の暮らしの中で環境保全のための工夫や努力をしたい	69.2%	64.8%（減）
・環境保全のための市民活動や行事に積極的に参加したい	22.0%	15.0%（減）
・環境保全に必要な費用について何らかの協力をした	21.0%	11.8%（減）
・特にしたいことはない	9.8%	21.5%（増）
		（複数回答）

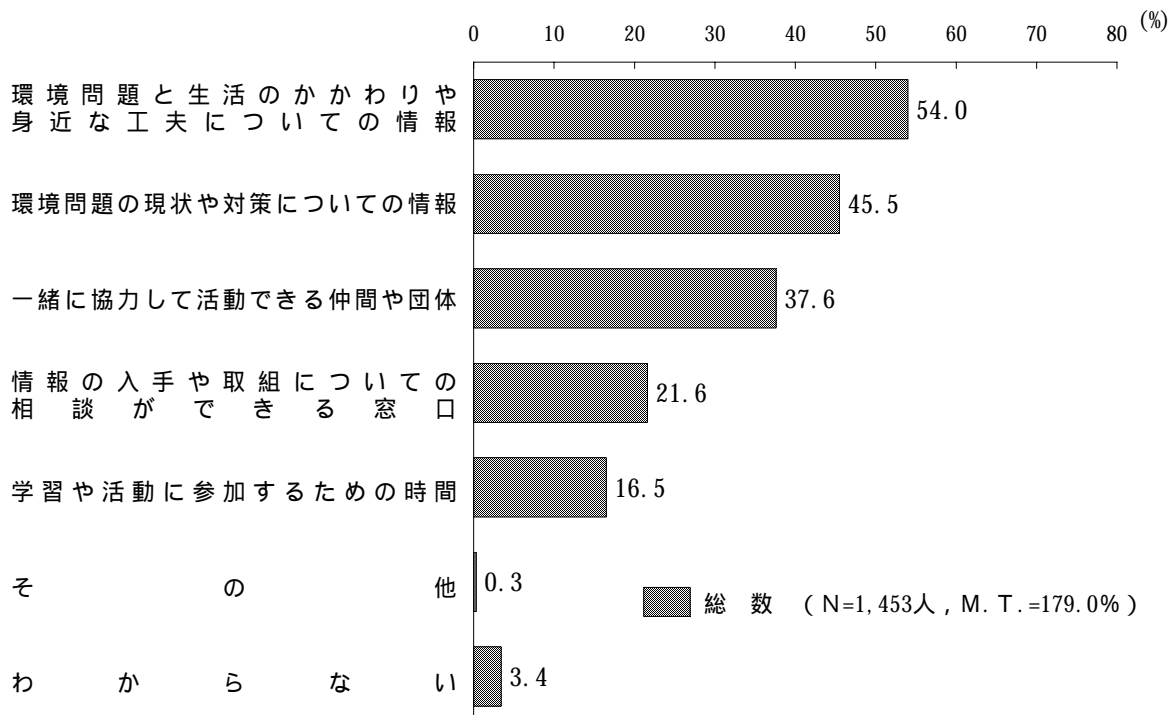


ア 環境保全行動に際して必要になるもの

（「特にしたいことはない」、「わからない」と答えた者以外(1,453人)に，複数回答，上位4項目）

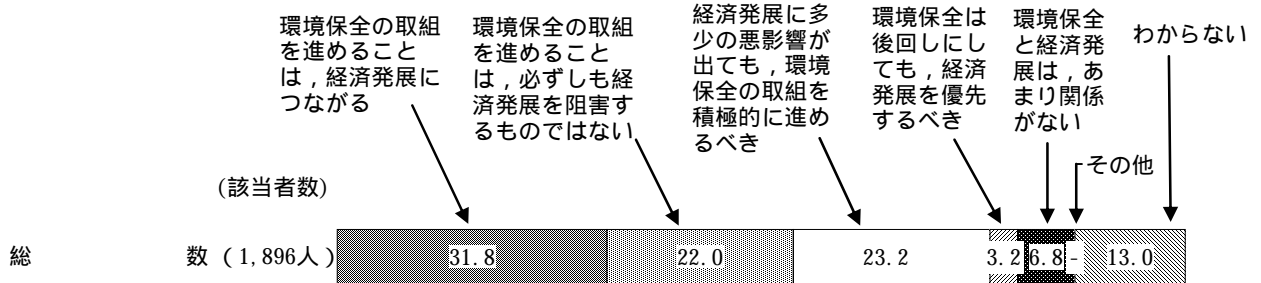
・環境問題と生活のかかわりや身近な工夫についての情報	54.0%
・環境問題の現状や対策についての情報	45.5%
・一緒に協力して活動できる仲間や団体	37.6%
・情報の入手や取組についての相談ができる窓口	21.6%

（「特にしたいことはない」，「わからない」と答えた者以外に，複数回答）



(5) 環境保全と経済の関係についての考え方

- ・環境保全の取組を進めることは、経済発展につながる 31.8%
- ・環境保全の取組を進めることは、必ずしも経済発展を阻害するものではない 22.0%
- ・経済発展に多少の悪影響が出て、環境保全の取組を積極的に進めるべき 23.2%
- ・環境保全は後回しにしても、経済発展を優先するべき 3.2%
- ・環境保全と経済発展は、あまり関係がない 6.8%
- ・わからない 13.0%

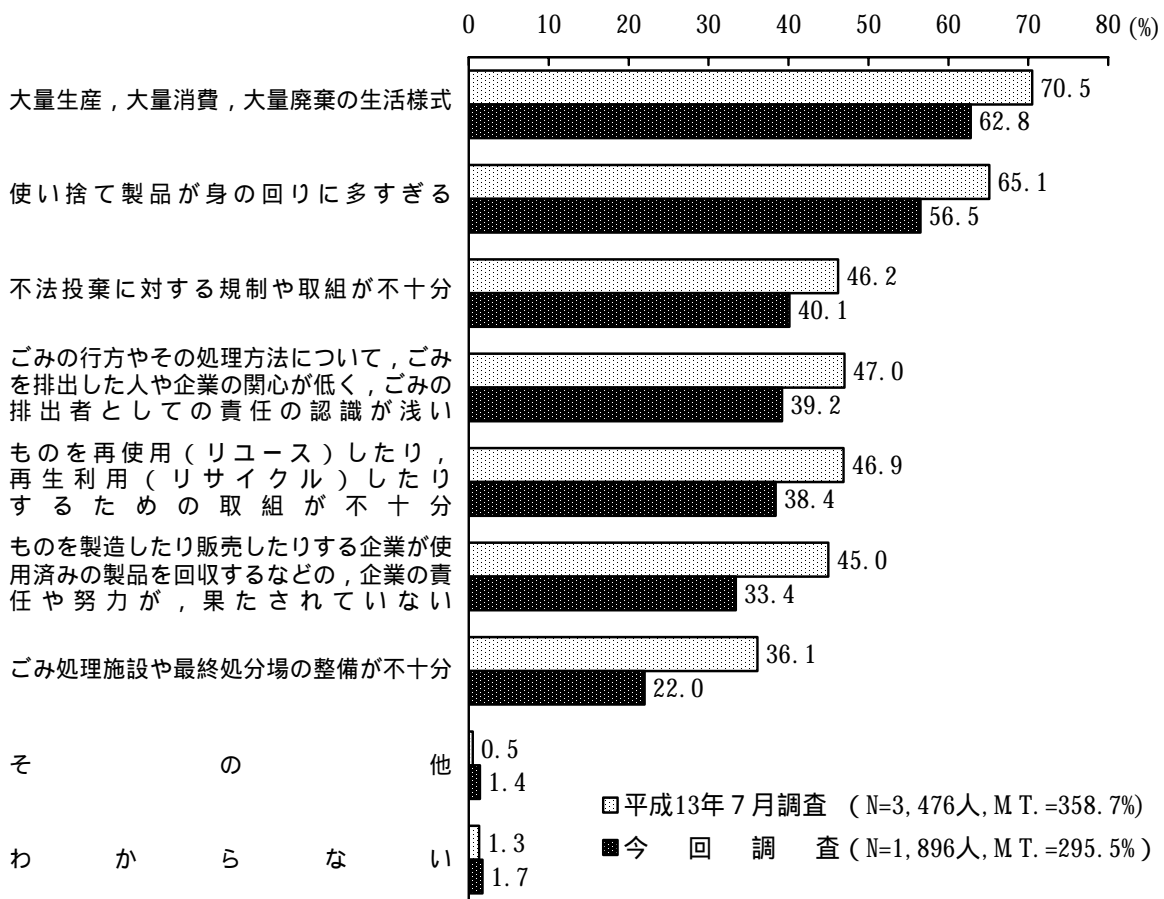


2 ごみの3Rの推進に対する意識について

(1) ごみの問題の原因（複数回答，上位5項目）

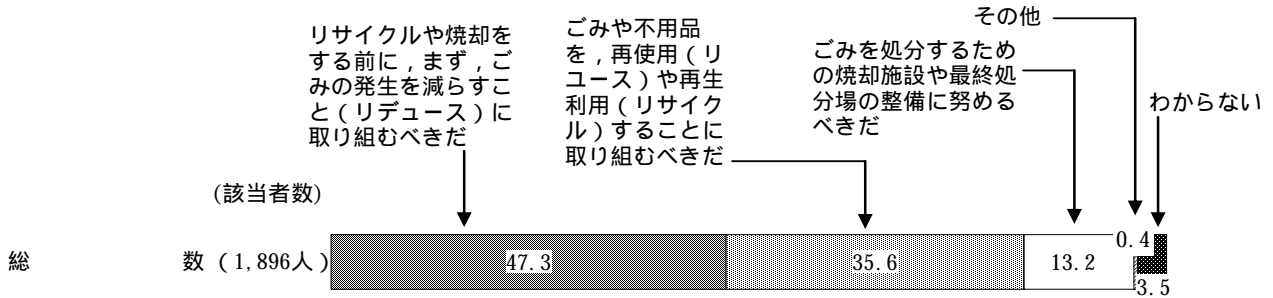
原因	平成13年7月 (%)	平成17年9月 (%)
・大量生産、大量消費、大量廃棄の生活様式	70.5%	62.8% (減)
・使い捨て製品が身の回りに多すぎる	65.1%	56.5% (減)
・不法投棄に対する規制や取組が不十分	46.2%	40.1% (減)
・ごみの行方やその処理方法について、ごみを排出した人や企業の関心が低く、ごみの排出者としての責任の認識が浅い	47.0%	39.2% (減)
・ものを再使用（リユース）したり、再生利用（リサイクル）したりするための取組が不十分	46.9%	38.4% (減)

(複数回答)



(2) 国の施策の方向性についての意識

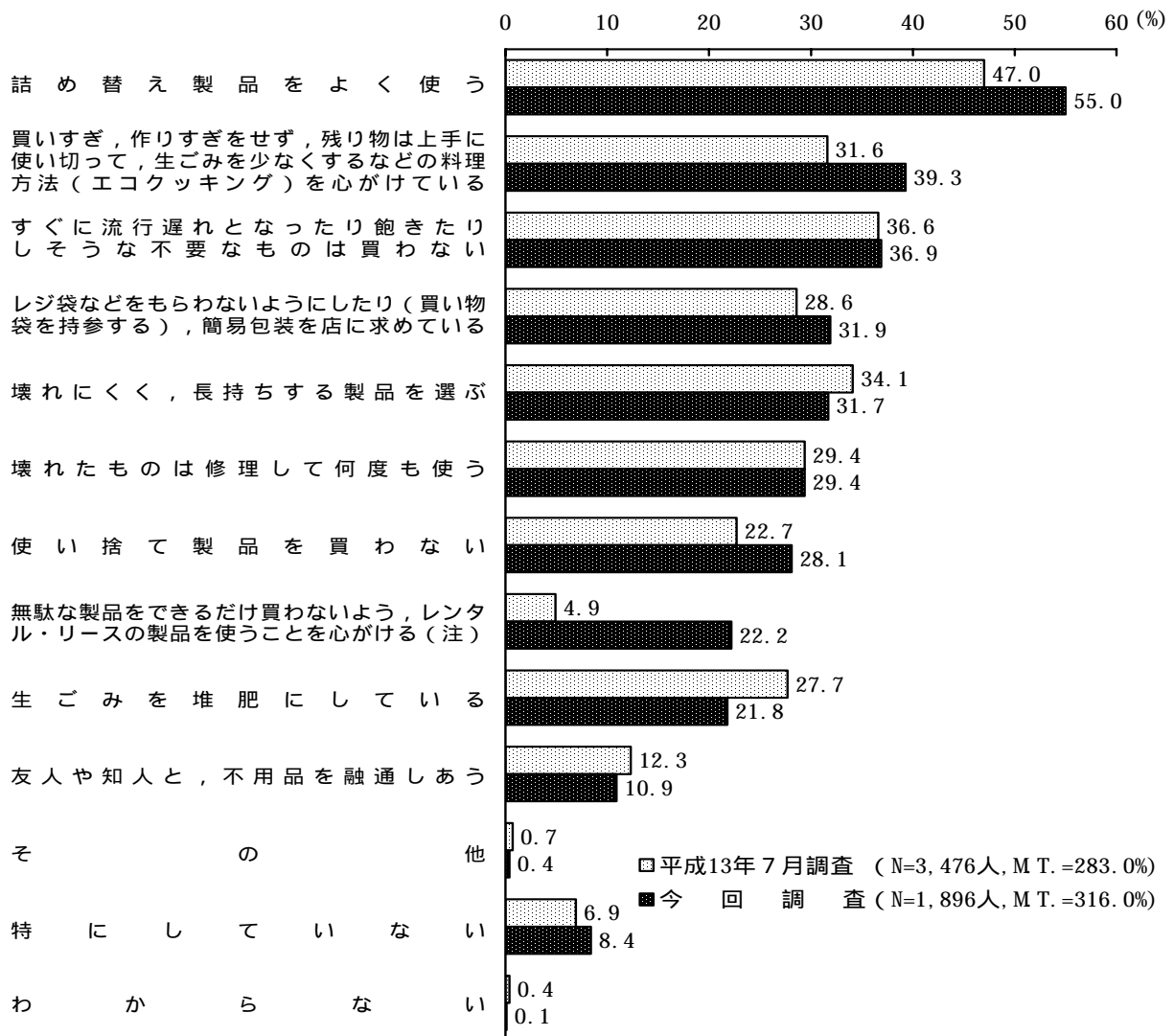
- ・リサイクルや焼却をする前に、まず、ごみの発生を減らすこと（リデュース） 47.3%  
に取り組むべきだ
- ・ごみや不用品を、再使用（リユース）や再生利用（リサイクル）すること 35.6%  
に取り組むべきだ
- ・ごみを処分するための焼却施設や最終処分場の整備に努めるべきだ 13.2%



(3) ごみを少なくするために心がけていること（複数回答，上位3項目）平成13年7月 平成17年9月

- ・詰め替え製品をよく使う 47.0% 55.0% (増)
- ・買いすぎ、作りすぎをせず、残り物は上手に使い切って、生ごみを少なくするなどの料理方法（エコクッキング）を心がけている 31.6% 39.3% (増)
- ・すぐに流行遅れとなったり飽きたりしそうな不要なものは買わない 36.6% 36.9%

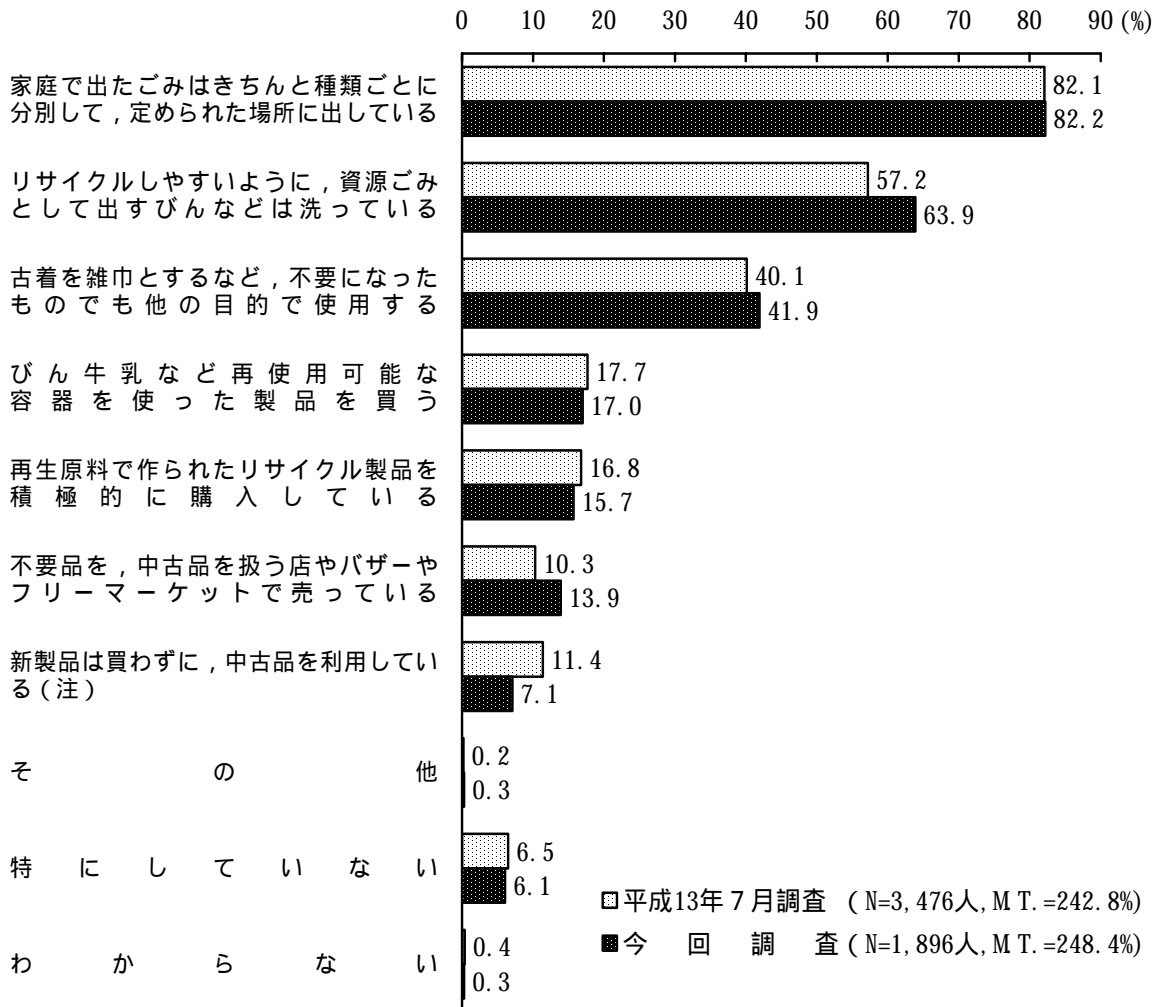
(複数回答)



(注) 平成13年7月調査では、「レンタルの製品をよく使う」となっている。

(4) 再使用や再生利用のために心がけていること(複数回答, 上位6項目)	平成13年7月	平成17年9月
・家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している	82.1%	82.2%
・リサイクルしやすいように、資源ごみとして出すびんなどは洗っている	57.2%	63.9% (増)
・古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する	40.1%	41.9%
・びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買う	17.7%	17.0%
・再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している	16.8%	15.7%
・不要品を、中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売っている	10.3%	13.9% (増)

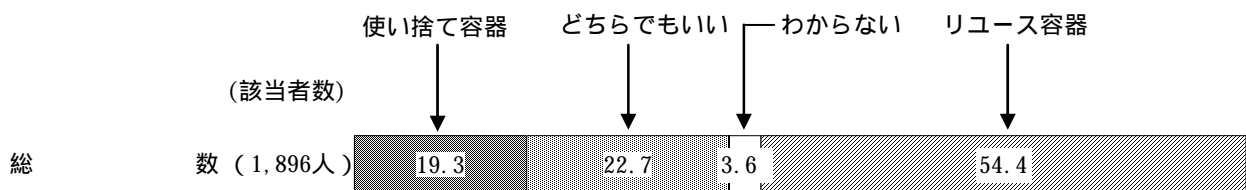
(複数回答)



(注)平成13年7月調査では、「中古品を利用している」となっている。

(5) 使い捨て容器・リユース容器の選択

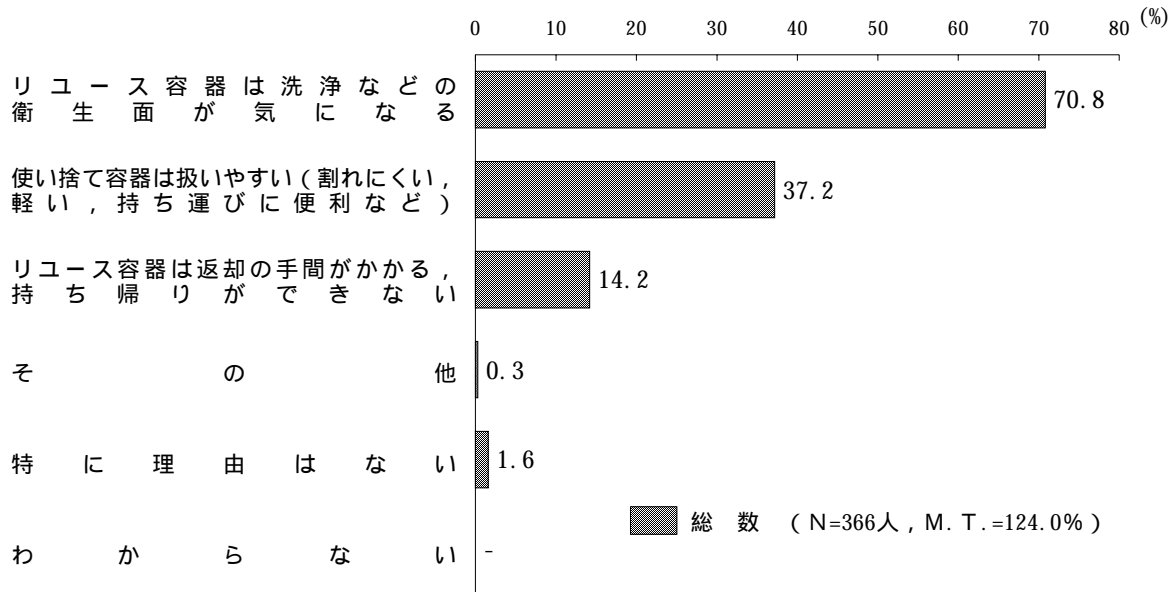
・使い捨て容器	19.3%
・リユース容器	54.4%
・どちらでもいい	22.7%



ア 使い捨て容器を選択する理由（「使い捨て容器」と答えた者(366人)に、複数回答，上位3項目）

- ・リユース容器は洗浄などの衛生面が気になる 70.8%
- ・使い捨て容器は扱いやすい（割れにくい、軽い、持ち運びに便利など） 37.2%
- ・リユース容器は返却の手間がかかる、持ち帰りができない 14.2%

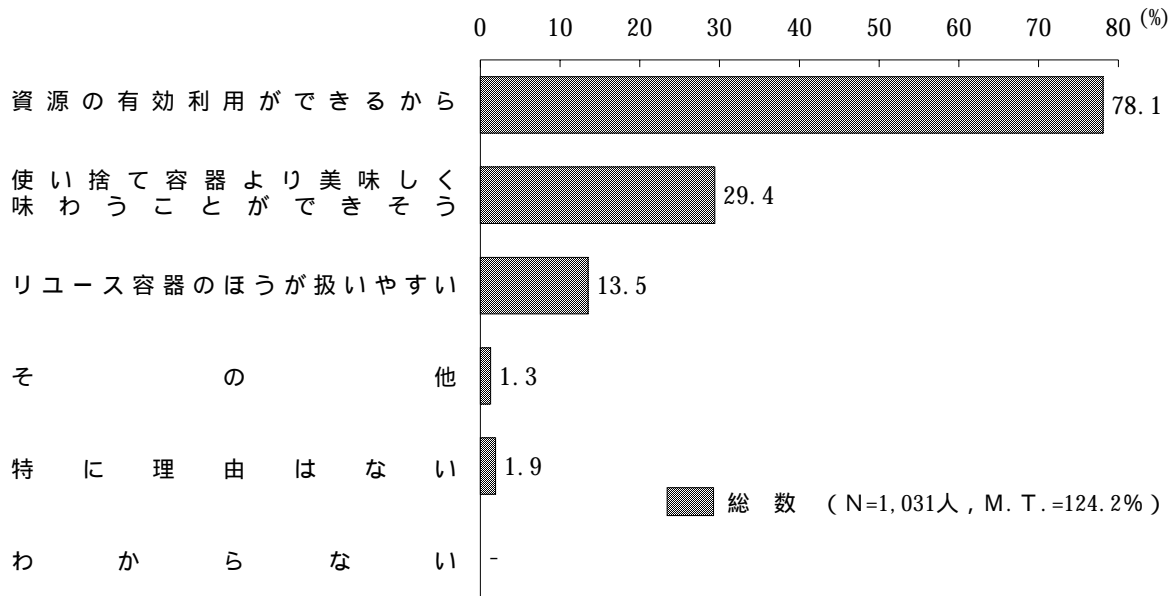
（「使い捨て容器」と答えた者に、複数回答）



イ リユース容器を選択する理由（「リユース容器」と答えた者(1,031人)に、複数回答，上位3項目）

- ・資源の有効利用ができるから 78.1%
- ・使い捨て容器より美味しく味わうことができそう 29.4%
- ・リユース容器のほうが扱いやすい 13.5%

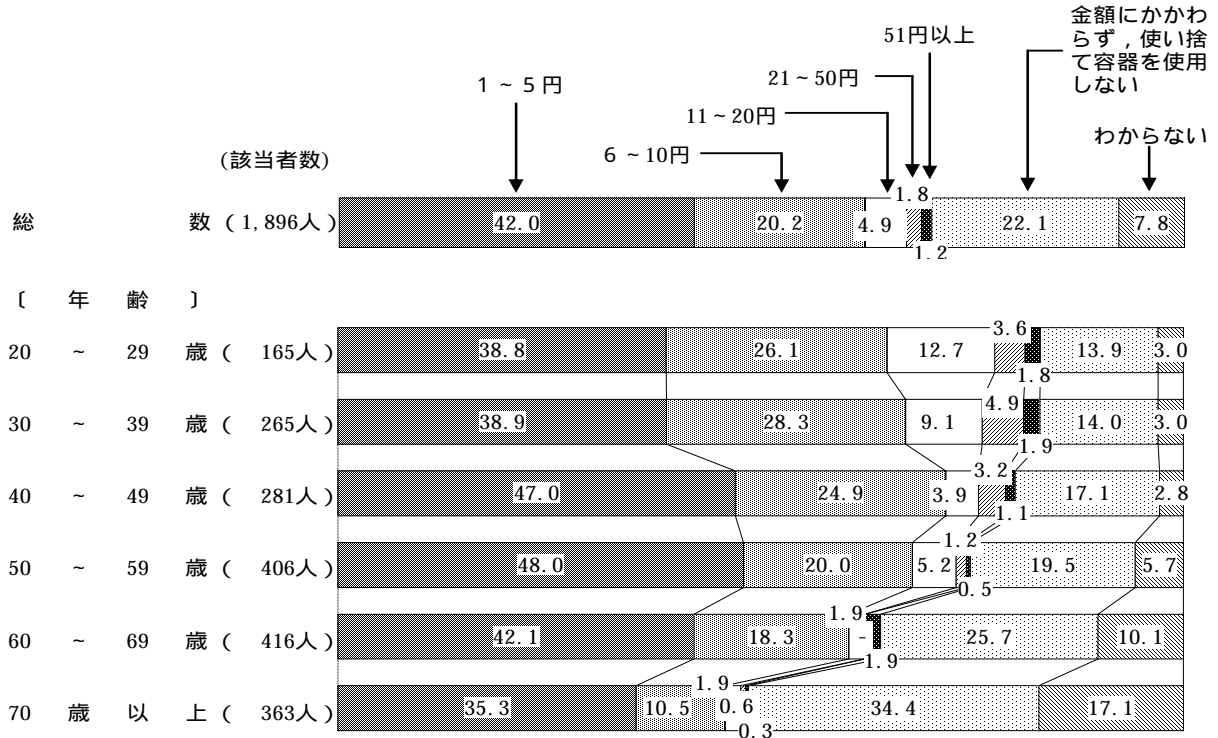
（「リユース容器」と答えた者に、複数回答）





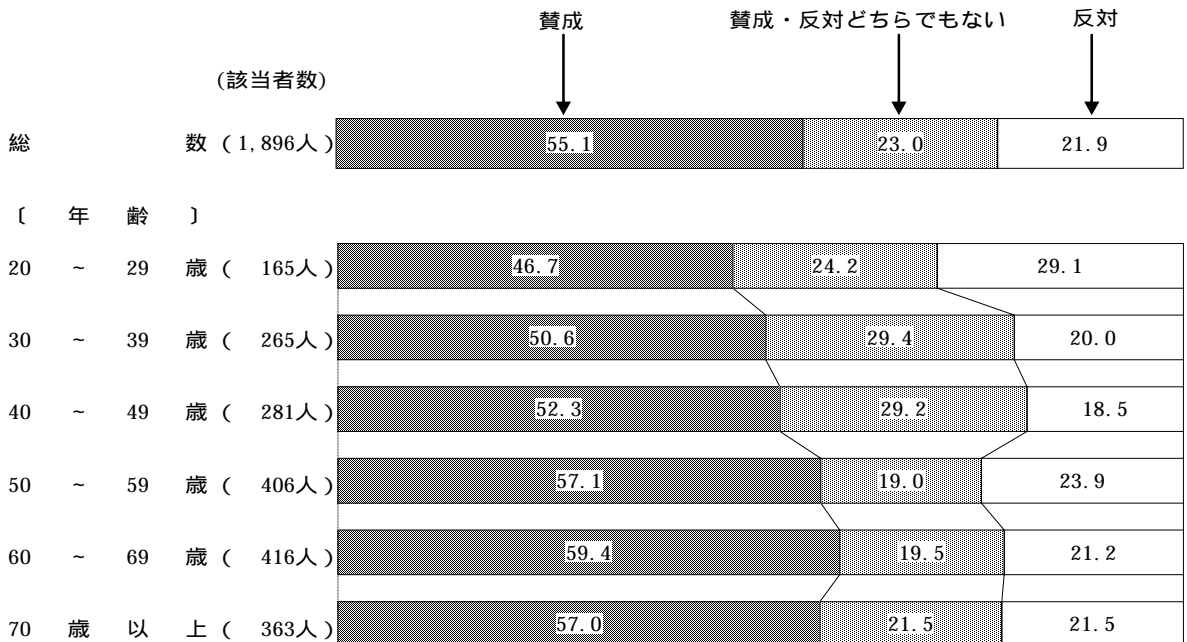
(6) 使い捨て容器のために上乗せしてよい費用

- ・ 1～5円 42.0%
- ・ 6～10円 20.2%
- ・ 11～20円 4.9%
- ・ 21～50円 1.8%
- ・ 51円以上 1.2%
- ・ 金額にかかわらず、使い捨て容器を使用しない 22.1%
- ・ わからない 7.8%



(7) レジ袋無料配布禁止についての賛否

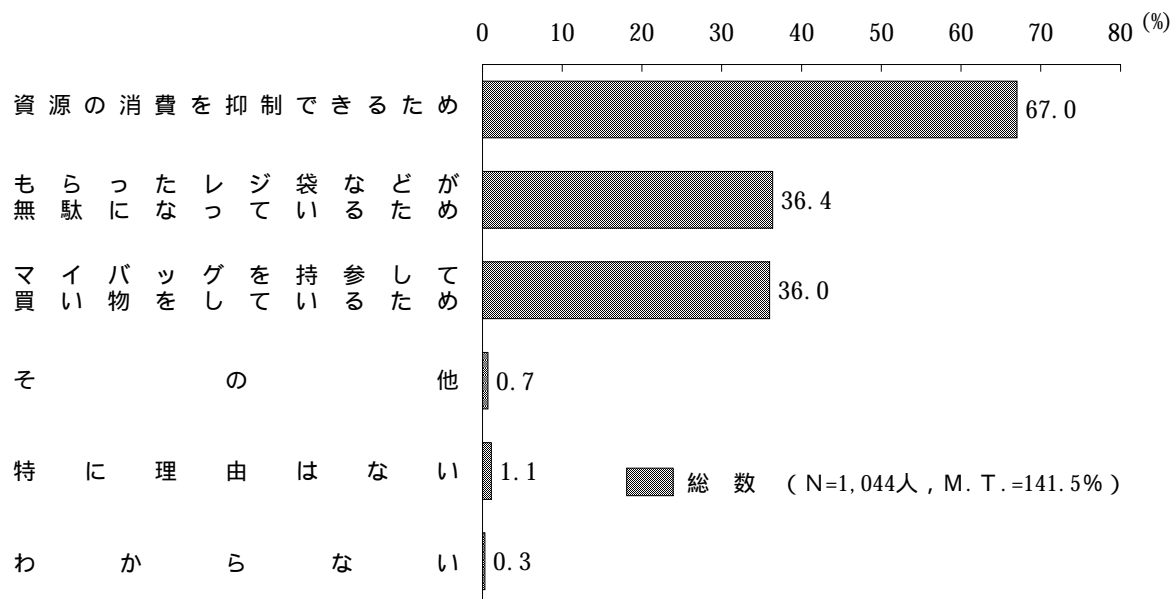
- ・ 賛成 55.1%
- ・ 反対 21.9%
- ・ 賛成・反対どちらでもない 23.0%



ア レジ袋無料配布禁止賛成の理由（禁止する動きに「賛成」と答えた者(1,044人)に、複数回答，上位3項目）

- ・資源の消費を抑制できるため 67.0%
- ・もらったレジ袋などが無駄になっているため 36.4%
- ・マイバッグを持参して買い物をしているため 36.0%

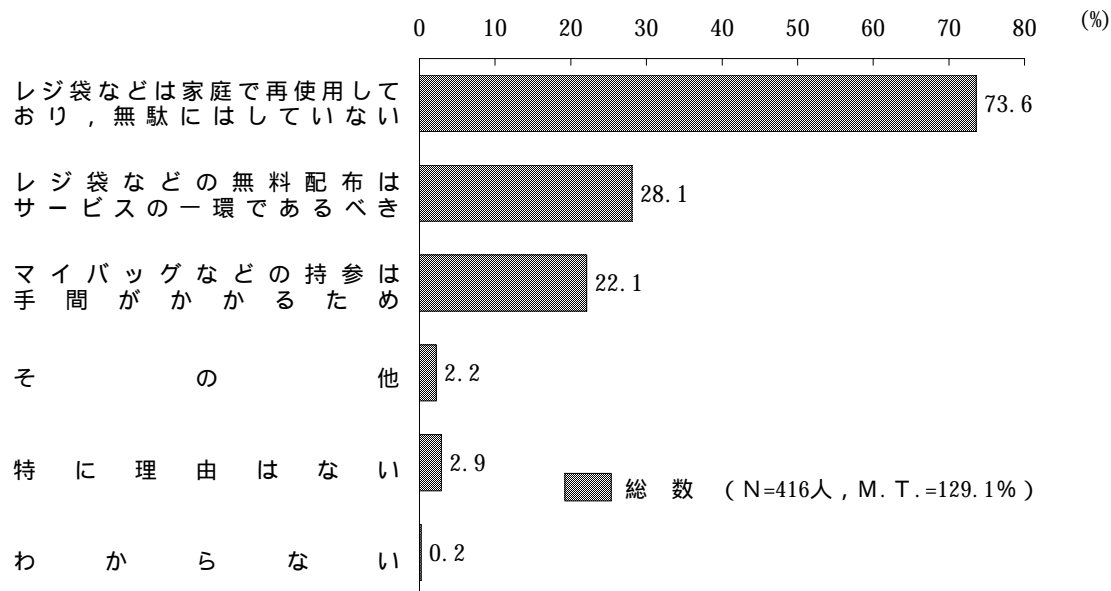
（禁止する動きに「賛成」と答えた者に、複数回答）



イ レジ袋無料配布禁止反対の理由（禁止する動きに「反対」と答えた者(416人)に、複数回答，上位3項目）

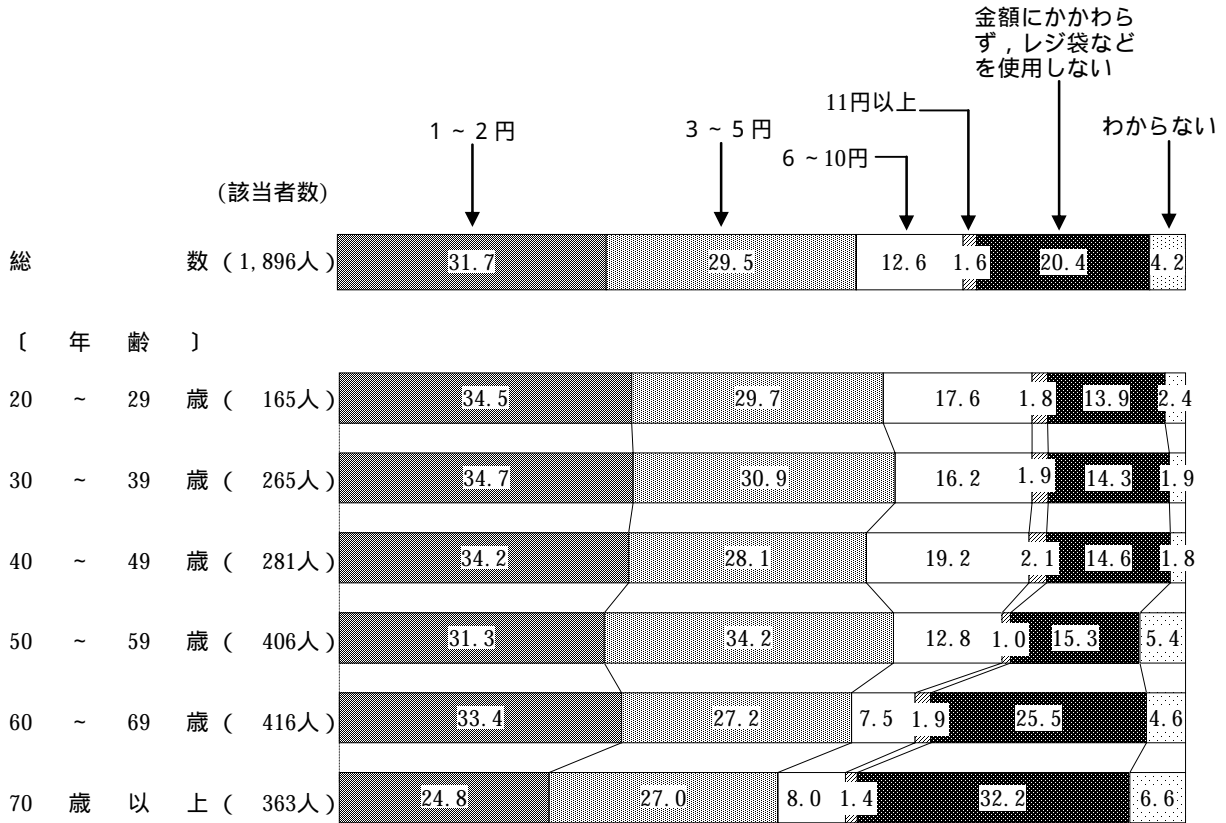
- ・レジ袋などは家庭で再使用しており、無駄にはしていない 73.6%
- ・レジ袋などの無料配布はサービスの一環であるべき 28.1%
- ・マイバッグなどの持参は手間がかかるため 22.1%

（禁止する動きに「反対」と答えた者に、複数回答）



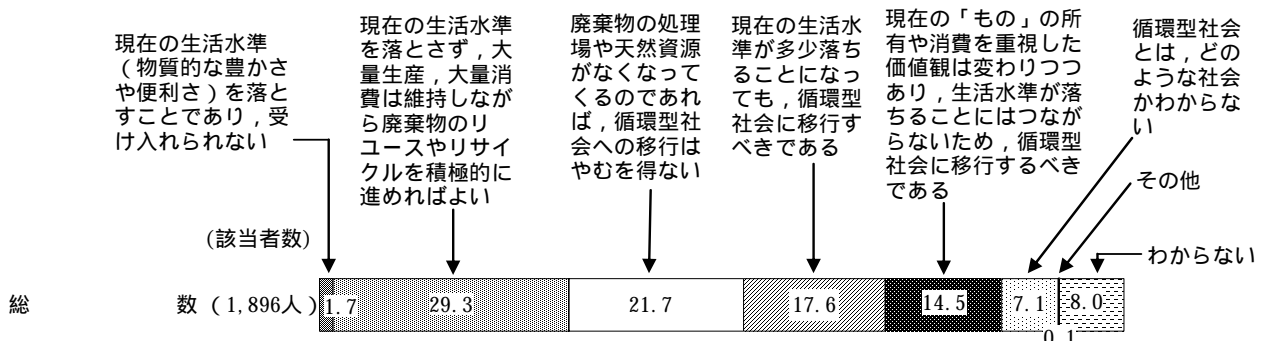
(8) レジ袋のために払ってもよい費用

- ・ 1～2円 31.7%
- ・ 3～5円 29.5%
- ・ 6～10円 12.6%
- ・ 11円以上 1.6%
- ・ 金額にかかわらず、レジ袋などを使用しない 20.4%



(9) 循環型社会の形成についての意識

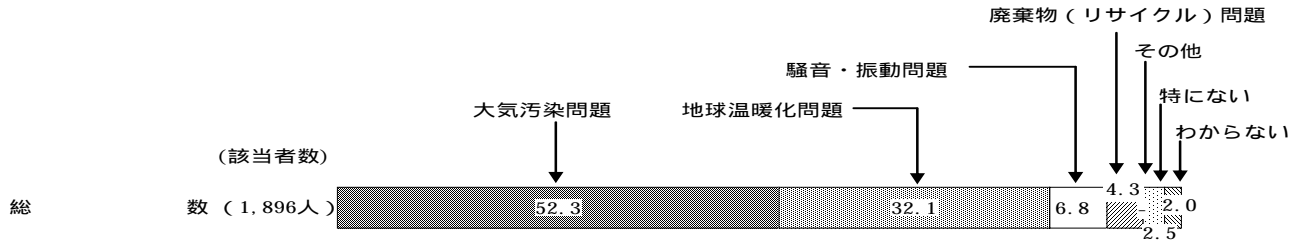
- ・ 現在の生活水準（物質的な豊かさや便利さ）を落とすことであり、受け入れられない 1.7%
- ・ 現在の生活水準を落とさず、大量生産、大量消費は維持しながら廃棄物のリユースやリサイクルを積極的に進めればよい 29.3%
- ・ 廃棄物の処理場や天然資源がなくなってくるとすれば、循環型社会への移行はやむを得ない 21.7%
- ・ 現在の生活水準が多少落ちることになっても、循環型社会に移行すべきである 17.6%
- ・ 現在の「もの」の所有や消費を重視した価値観は変わりつつあり、生活水準が落ちることにはつながらないため、循環型社会に移行すべきである 14.5%
- ・ 循環型社会とは、どのような社会かわからない 7.1%



### 3 自動車環境問題に対する意識について

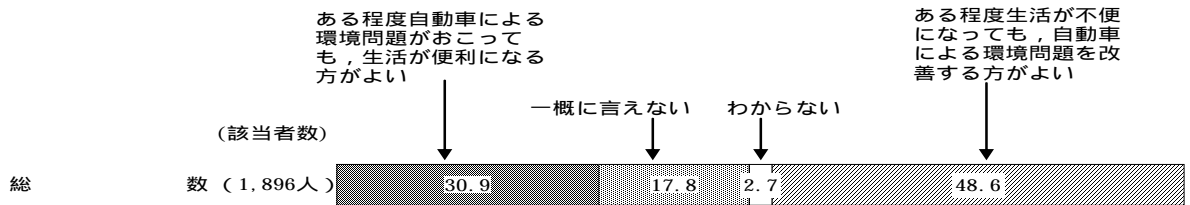
#### (1) 自動車による環境問題

- ・大気汚染問題 52.3%
- ・地球温暖化問題 32.1%
- ・騒音・振動問題 6.8%
- ・廃棄物（リサイクル）問題 4.3%
- ・特にない 2.5%



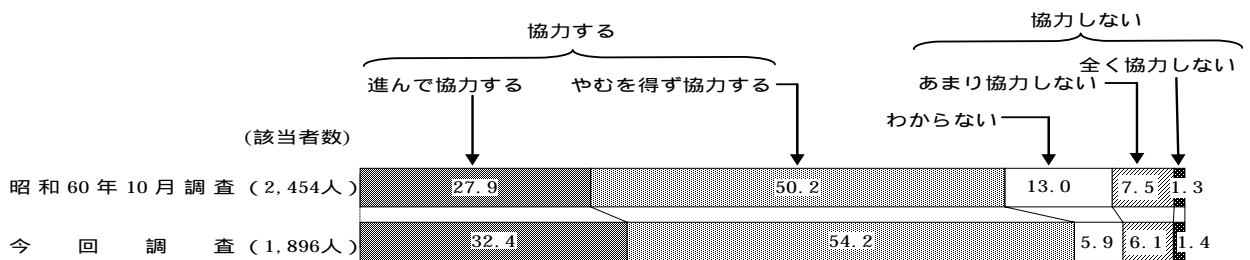
#### (2) 自動車の利便性と環境問題との関係についての考え方

- ・ある程度自動車による環境問題がおこっても、生活が便利になる方がよい 30.9%
- ・ある程度生活が不便になっても、自動車による環境問題を改善する方がよい 48.6%
- ・一概に言えない 17.8%



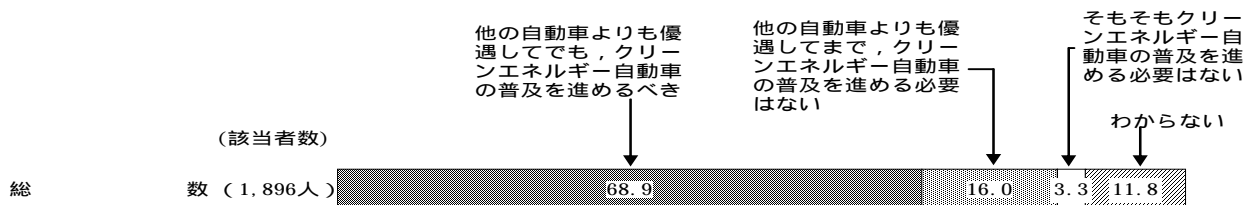
#### (3) 自動車公害防止への協力

- |           | 昭和 60 年 10 月 | 平成 17 年 9 月 |
|-----------|--------------|-------------|
| ・協力する     | 78.1%        | 86.7%       |
| 進んで協力する   | 27.9%        | 32.4%       |
| やむを得ず協力する | 50.2%        | 54.2%       |
| ・協力しない    | 8.8%         | 7.5%        |
| あまり協力しない  | 7.5%         | 6.1%        |
| 全く協力しない   | 1.3%         | 1.4%        |



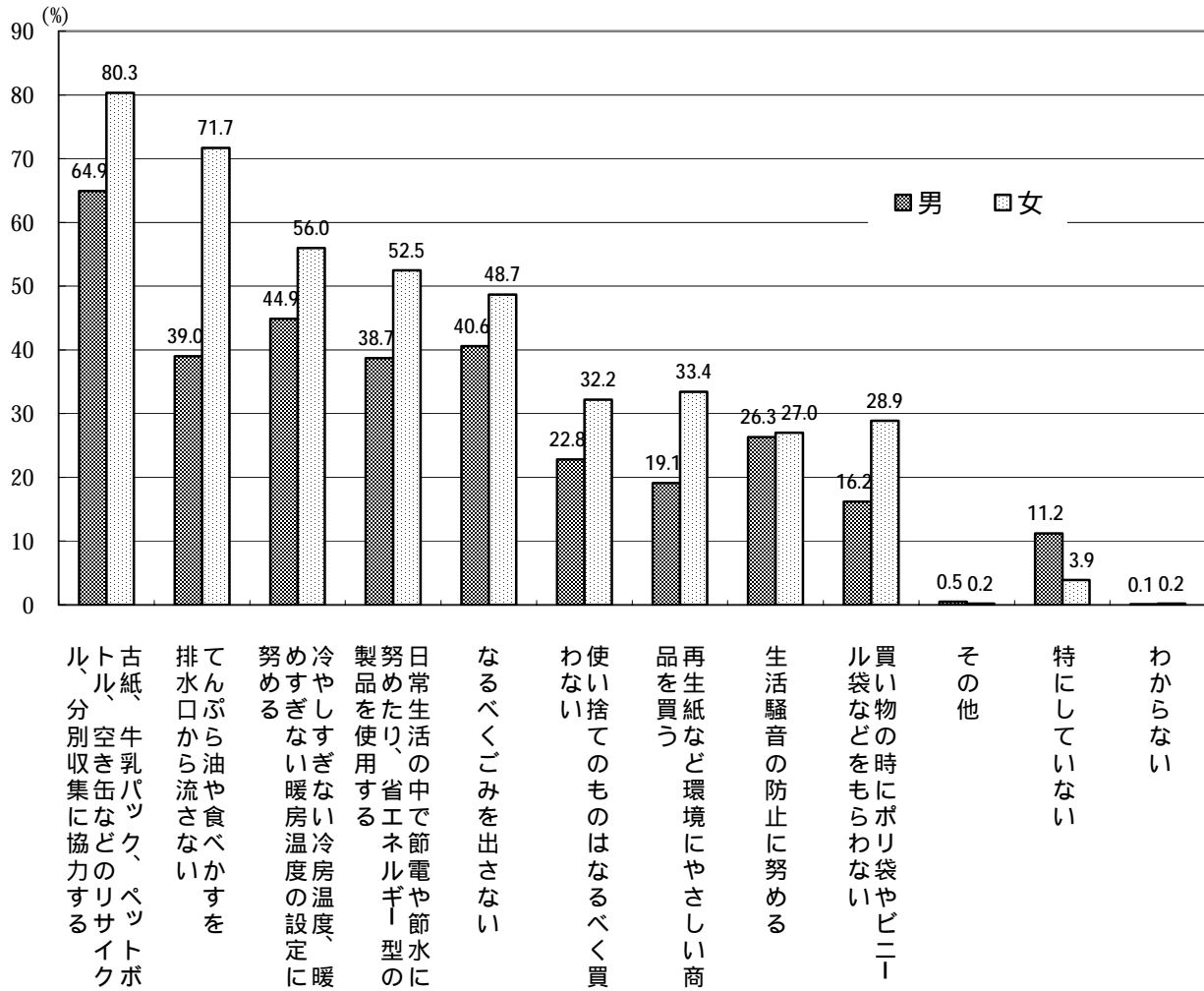
#### (4) 低公害車の優遇施策

- ・他の自動車よりも優遇してでも、クリーンエネルギー自動車の普及を進めるべき 68.9%
- ・他の自動車よりも優遇してまで、クリーンエネルギー自動車の普及を進める必要はない 16.0%
- ・そもそもクリーンエネルギー自動車の普及を進める必要はない 3.3%
- ・わからない 11.8%



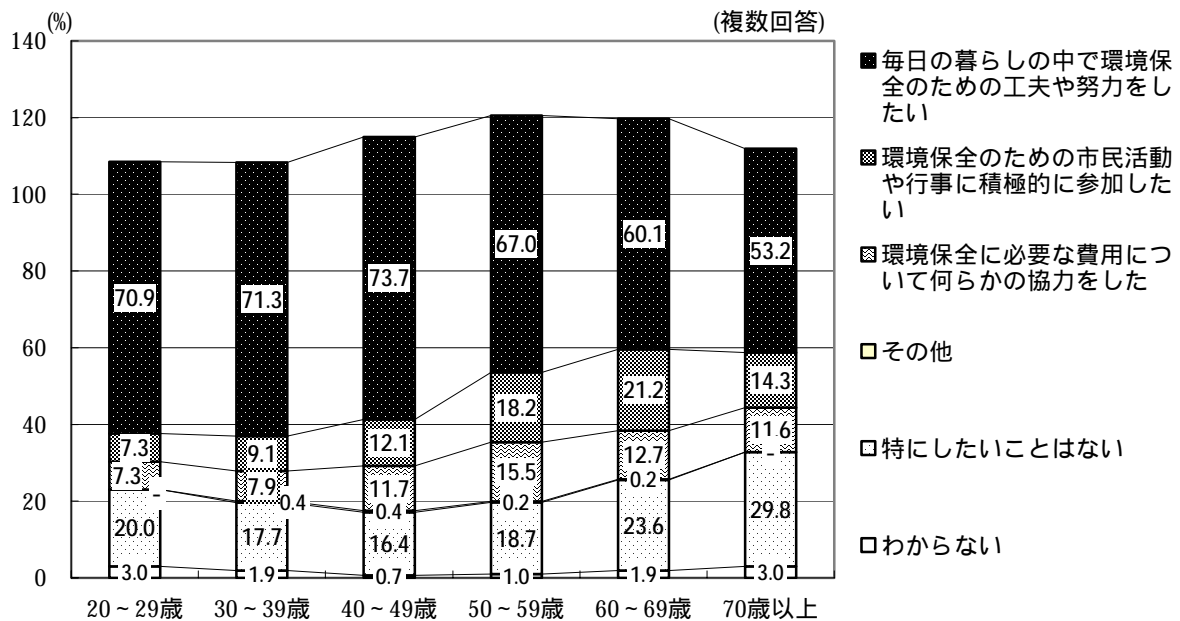
(参考) 図1 家庭における環境保全の取組 - 性別 -

(複数回答)



(参考) 図2 今後の環境保全への取組 - 年齢別 -

(複数回答)



(参考) 図3 レジ袋無料配布禁止反対の理由 - 年齢別 -

